

## 第4期 練馬区障害者地域自立支援協議会の体制

### 練馬区障害者地域自立支援協議会(全体会)

- ◎ 障害当事者等、サービス提供事業者、相談支援事業者、就労・福祉・教育関係者、学識経験者等の22名で構成する。
- ◎ 地域関係者と連携し、情報の共有を行うとともに、専門部会の報告を元に、個別事例等から見えてくる地域課題の抽出、地域の実情に応じた体制の整備等について協議を行う場(年3回開催)。
- ◎ 全体会委員の専門部会への参加は希望制とし、専門部会のテーマ等に応じて、専門部会から参加依頼を行う。

専門部会の議論報告・  
全体会からの助言

事務局会議(月1回開催)  
全体会と専門部会の連携・調整

専門部会

地域生活・高齢期支援部会(豊玉)

相談支援部会(光が丘)

地域移行支援部会(石神井)

権利擁護部会(障害者  
施策推進課・大泉)

### 第4期における協議事項

- ① 相談支援ネットワークの推進および相談支援体制の整備に関する事
- ② 障害者計画および障害福祉計画の進捗状況の把握、確認に関する事
- ③ 障害者虐待防止に係るネットワークの構築および障害者の権利擁護に関する事
- ④ 高齢期を迎える障害者の支援および地域の障害者を支援する取組に関する事
- ⑤ 障害者の地域移行および地域定着支援に関する事

- ①関係機関のネットワークの強化と情報共有
- ②地域の障害者への理解の促進
- ③地域課題の解決のための体制整備の提案

## 第4期練馬区障害者地域自立支援協議会専門部会の設置について

### 1 権利擁護部会の設置

部会名	権利擁護部会
事務局	障害者施策推進課・大泉障害者地域生活支援センター
概要	障害者虐待防止に係るネットワークの構築に関することおよび障害者の権利擁護の推進に関する協議
主な協議テーマ	関係機関の協力体制を強化し、障害者虐待防止のためのネットワークを構築するとともに、障害者の権利擁護について検討する。 ①障害者虐待防止に関すること ②障害者の権利擁護の推進に関すること。 ③地域における見守りネットワークに関すること
第3期からの議論の引き継ぎ	障害者の権利や社会参加を考える際、障害は個別性が高く、必要とする支援が違うことを踏まえて対応することが必要であることから、障害の理解と障害を理由とする差別の解消の推進に関する具体的な取組を考える必要がある。

### 2 地域生活・高齢期支援部会の設置

部会名	地域生活・高齢期支援部会
事務局	練馬区立豊玉障害者地域生活支援センター
概要	障害者の高齢化や重度化、「親亡き後」に備えて、障害者等の生活を地域全体で支えるための支援について検討する。 地域生活支援拠点の整備に向けて、地域で生活するために必要な支援、課題等について協議する。
主な協議テーマ	①障害者の地域生活を支えるための具体的な取組や必要な施策、関係機関の有機的連携に関すること。 ②地域生活支援拠点の整備に関すること。 ③高齢期を迎える障害者への支援に関する課題の抽出、整理、具体的な対応に関すること。
第3期からの議論の引き継ぎ	第3期の部会において、高齢期を迎える障害者への支援に関する課題の抽出および対応方法について整理してきた。 第4期では、障害者の地域生活を支えるための具体的な取組、関係機関の有機的連携等に関することを協議する。

### 3 相談支援部会の設置

部会名	相談支援部会
事務局	練馬区立光が丘障害者地域生活支援センター
概要	相談支援ネットワークの推進と相談支援の体制整備に関する協議を行う。
主な協議テーマ	サービス等利用計画や個別の支援ケースの事例から、練馬区の実情に沿った機能的な相談支援ネットワークの在り方について協議する。 ①相談支援に対する課題の抽出、整理、具体的な対応に関すること。 ②相談支援に係るネットワークに関すること。 ③ケアマネジメント体制の強化に関すること。
第3期からの議論の引き継ぎ	・障害児支援の視点から切れ目のない支援、障害者の孤立を防止する取組について協議する。 ・障害者の高齢化に合わせて、介護する家族の高齢化の問題が予想される。一つの機関だけでは対応が困難であるため、高齢者の支援機関との連携について検討する必要がある。

### 4 地域移行部会の設置

部会名	地域移行部会
事務局	練馬区立石神井障害者地域生活支援センター
概要	・障害者の地域移行および地域定着の支援に関する協議を行う。 ・障害者の住まいに関すること。
主な協議テーマ	関係機関の連携を強化し、障害者の地域移行・地域生活の定着に向けて支援体制の検討を行う。 ・地域移行、地域定着の推進に関すること。 ・地域での暮らしを続けるために必要な支援の充実に関すること。 ・障害者が賃貸住宅で円滑に住居を選び、継続して居住するための支援に関すること。
第3期からの議論の引き継ぎ	・障害者が地域で活躍できる場の創出や、障害に対する普及・啓発を促し、障害がある人もない人も共に支え合う仕組みを作る。 ・重複障害の長期入院者の退院支援における、社会資源や関係機関の役割を考える。 ・本人の住みたいと思う地域に退院ができるように、また本人が希望する地域生活を実現するための支援について考える。 ・ピアサポーターの育成と活用に関する協議 ・地域住民の理解とネットワークづくり

